



TOYODA GOSEI

2022年1月28日

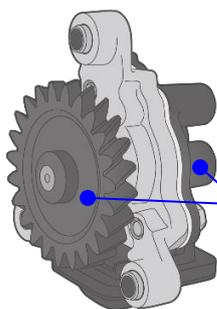
## ～金属からの樹脂化で軽量化～ 軽量オイルポンプを開発

豊田合成株式会社(本社:愛知県清須市、社長:小山享)は、車の変速機(トランスミッション)の構成部品であるオイルポンプの一部を金属から樹脂化し、軽量化を実現しました。

オイルポンプは、トランスミッションのギヤとベアリングの摩擦低減のためにオイルを吸い上げ、循環させる部品です。今回、当社のコア技術である樹脂の精密成形技術を活かすことで、オイルポンプを構成するギヤなどを樹脂化し、質量を約3割削減しました。

なお、この「軽量オイルポンプ」は、2022年1月に発売されたノア・ヴォクシーのハイブリッド(HEV)モデルに搭載されています。本製品の軽量化により、車両の環境性能向上に寄与したことがトヨタ自動車株式会社から評価され、当社は技術開発の部で「プロジェクト表彰」を受賞しました。

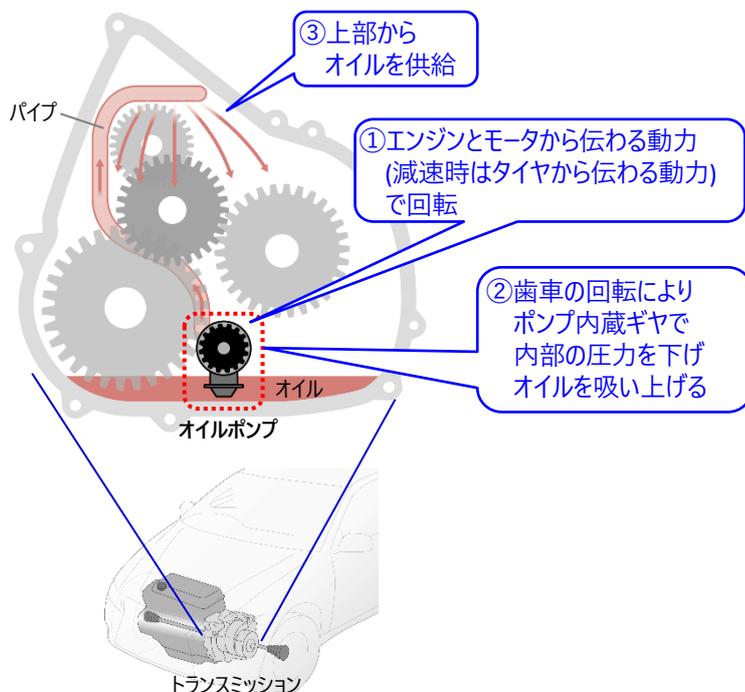
### <軽量オイルポンプ>



今回、樹脂化  
【約3割軽量化】

### <オイルポンプの役割(イメージ)>

トランスミッションのギヤとベアリングの作動を円滑にするため、オイルを吸い上げ、循環させる。



お問い合わせ先：豊田合成(株) 経理部 森田・清水 Tel. 052-400-5131